

施策評価シート(令和2年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0104	政策名	観光の振興	施策主管課	観光課	課長名	藤井 淳			
政策の目指す姿	国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出しています									
施策No	03	施策名	移動しやすい観光地	関係課名						
施策の目指す姿	観光客がスムーズに移動しています									
現状と課題										
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本人旅行者は、旅行形態としての団体型旅行が減少し、個人型旅行が増加しています。 訪日外国人観光客は、団体型旅行が多い状態です。 温泉、宮沢賢治、まつり等、多くの観光資源がありますが、それぞれの観光施設や資源は広範囲に点在しており、施設間を移動するための二次交通は十分とはいえない状況にあります。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人型旅行で訪れる観光客がスムーズに移動できるように、観光施設等の改廃や道路改良、路線変更に対応した適切な箇所への観光案内看板の設置が必要です。 市内の広範囲に及び観光施設を巡る周遊バスについて、魅力的なコース設定と適切な料金体系の検討が必要です。 主要交通拠点(いわて花巻空港や新花巻駅)と観光施設等を結ぶ二次交通の検討が必要です。 当市は大型宿泊施設が多く団体客は貴重であるため、団体客を的確に取り込むことが必要です。 										
前年度の評価の振り返り										
前年度評価時の今後の方向性										
<ul style="list-style-type: none"> 安心して観光客が利用出来る二次交通の確保をするため、利用時の感染予防対策について委託事業者等との綿密な打合せを行い、少人数利用希望に対応した乗車数制限や定期的な換気、消毒液の設置等、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底して事業を行う。 JR駅から宿泊施設・観光施設を結ぶ二次交通は、観光客にとって観光する上での重要な要素であることから、随時途中で立ち寄る観光施設等のコース設定を見直し、より魅力的なコースを検討する。 観光案内標識の新設・更新等の整備計画の随時見直しを行い、観光施設の改廃、道路改良等により、案内が不足している部分や内容変更が必要な部分等に対応しながら計画的な整備を行う。 										
反映状況										
<ul style="list-style-type: none"> 安心して観光客が利用出来る二次交通の確保のため当市で実施している支援事業の委託事業者がバス、タクシー等で事業実施する際には、業界団体が示している感染予防対策ガイドラインに沿った対策を徹底した。レトロジャンボタクシー「どんぐり・やまねご号」では、定員半数程度の乗車数制限、定期的な換気実施、消毒液設置等を行った。 どんぐり・やまねご号は、実施主体である花巻観光協会が常時行っている利用者のアンケート調査を参考に観光施設等のコース設定の見直しを行っており、令和2年度は、午前コースに雨ニモマケズ詩碑、午後コースにイーハトーブ館を含んでいたコースを見直し、要望が多かった午前・午後コースとも宮沢賢治記念館を含めるコースの見直しを実施した。 観光案内標識の危険箇所等の解消を行う計画に基づく撤去、更新、修繕は令和2年度で完了した。令和3年度は観光課管理の観光案内標識等の調査・データ化を行う。計画的な維持管理を行うため令和4年度に管理計画策定予定。 										
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組										
<p>(1) 観光案内表示の充実</p> <p>観光客にわかりやすい観光案内看板の設置と維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置から相当年数経過した標識の撤去、更新、修繕を実施 <p>(2) 観光施設間の移動手段の確保</p> <p>駅から温泉、観光施設間の二次交通の運行支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 花巻温泉郷が共同運行する新花巻駅から温泉施設等への無料送迎バス運行事業への支援 利用者ニーズに対応した魅力的な二次交通の運行支援 花巻観光協会が実施する主要JR駅発着の観光施設、温泉施設等を巡るレトロジャンボタクシー運行事業への支援 団体貸切バスツアーの運行支援 市内宿泊施設に1泊するツアー造成した場合、バス経費に対して支援し、国内ツアー造成を促進する事業を実施 										
2 成果指標										
成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04
案内板表示に満足した観光客の割合	観光施設等目的地に迷うことなく到着することができたか、観光客ニーズとともに調査測定することとしたもの。	花巻市観光客満足度アンケートにある「案内板表示に満足できたか」という設問により把握する。	%	目標値	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
				実績値	87.00	87.00	84.00	87.00		
観光環状バス等の利用者数	二次交通となる宿泊施設と駅等を結ぶ送迎バスと主要観光施設を巡る周遊観光バスがどの程度利用されているかを示す指標として設定する。	事業主体からの実績報告 ・温泉郷宿泊施設等送迎バス ・主要観光施設周遊バス	万人	目標値	5.80	5.90	5.90	5.60	5.60	5.60
				実績値	5.50	5.50	5.47	2.33		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>成果指標「案内板表示に満足した観光客の割合」・・・【達成度b】 概ね目標値を達成した。過去4年間の内3年の実績値が87%(成果指標90%)で、令和元年度が84%と高い水準を維持している結果となった。東北デスティネーションキャンペーンの前年度であった当該年度中に新花巻駅、花巻駅周辺の案内看板等の更新を行ったことや、スマートフォンの普及で観光客自身が目的地までの経路を調べやすくなったことでエリア毎の主な施設を案内することで案内が十分となっていることから相乗効果が生じていると推察される。</p> <p>成果指標「観光環状バス等の利用者数」・・・【達成度d】 市が支援し実施している観光環状バス等については、新幹線が発着する新花巻駅での乗降となっており、新型コロナウイルス感染症の拡大・感染予防の観点から、国、県から県内外の往來の自粛が呼びかけられる中、新幹線利用が激減した影響を直接受け、大幅な利用者数減となった。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
・なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>・(観光ルート整備事業費)どんぐり・やまねこ号は、利用客アンケート等を通じて新たな需要を確認し、魅力的なコース設定を随時行う必要がある。団体旅行貸切バスツアー運行支援については、必要に応じて需要喚起の視点から、対象範囲等を見直し実施する必要がある。</p> <p>・(観光案内板整備事業)案内板表示に満足した観光客の割合が87%(成果指標90%)となっており、また、スマートフォンの普及が進んだことにより観光客自身が行きたい場所までのルートを確認しやすい環境となってきている。このことから、観光案内板の新設は一定程度充足されたと考えられ、よって観光課が管理している既存標識の計画的な維持管理を行うための計画を令和4年度に策定し、必要最小限の経費で現在の観光案内板を維持出来るようにしていく。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
・なし

5 施策の総合的な評価

課題
<p>・市観光課が管理する観光案内板については、既存観光案内板の維持管理を計画的に実施することで、経費削減に努める必要がある。</p> <p>・レトロジャンボタクシーにより実施してどんぐり・やまねこ号のコース設定は、温泉郷を中心として複数回当市を訪れる観光客の割合が高い傾向にあることもあり、常にそのコース設定を見直しし、魅力的なコースとする必要がある。</p> <p>・二次交通確保のため市が行っているバス事業の利用促進を行うには、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底して実施するとともに、安全な乗り物であることを利用者等に周知する必要がある。</p> <p>・令和2年度に団体旅行貸切バスツアーの対象見直しにより、隣県・県内の新たな教育旅行需要が喚起されたことから、効果的な事業実施となるよう、随時事業の見直しを行う必要がある。</p>
今後の方向性
<p>・令和3年度に市観光課が管理する観光案内板の全調査を行い、令和4年度以降に実施する維持管理の計画を策定する。</p> <p>・どんぐり・やまねこ号については複数回当市を訪れる観光客が再度利用してもらえるような魅力的なコース設定を随時行う。</p> <p>・二次交通確保のためのバス事業の利用促進ため利用者が安心して利用してもらえるよう、業界団体が示す感染予防対策ガイドラインに沿った対策を徹底し、対策実施の周知も併せて行い、安全、安心に利用出来るような環境整備に努める。</p> <p>・令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、隣県、県内等近場での教育旅行需要が新たに生じ、一定程度の団体旅行貸切バスツアーの利用実績があったことから、効果的な事業実施となるよう、随時事業の見直しを行う。</p>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	観光ルート整備事業費	観光	一致	直結	C
	花巻温泉郷共同送迎バス運行支援(利用者数 23,314人)、市内観光施設周遊バス運行支援(運行日数 117日、利用者数 418人)、団体旅行貸切バスツアー運行支援(支援台数 93台、利用者数 2,384人) 15,690千円				
020	観光案内板整備事業費	観光	一致	直結	B
	観光案内板の撤去、新設(更新)、修繕 5,158千円 (撤去 1基、更新 1基、修繕 21基 計 23基)				